

第46回全国障害者技能競技大会

<114>ビルクリーニング競技 事前公表課題

いっぱんてき ちゅういじこう
一般的な注意事項

きょうつう
< 共 通 >

- 1 課題は、課題1「カーペット床及び机上清掃」と課題2「弾性床清掃及びごみ処理

作業」の2課題です。又、競技は、課題1の「カーペット床清掃及び机上清掃」

をA・Bコート、課題2の「弾性床清掃及びごみ処理作業」をC・Dコートで

行ないます。尚、競技の進行状況において適宜休憩時間を設けます。

- 2 どちらの課題も、作業面積は、16 m² (4×4m) とし、幅木による区画とし、幅木

の上には、壁があるものとして作業を行ってください。

- 3 作業場所にある机や三段ボックスは、移動させないでください。

- 4 2課題とも次の規定時間が定められています。

① 課題1 8分 で打ち切り ② 課題2 8分 で打ち切り

尚、両課題とも残り時間が少なくなったところでアナウンスします。

① 課題1 2分 ② 課題2 2分

又、規定時間8分を超えたところで打ち切りとします。打ち切りとなった競技者

は競技委員の指示に従ってください。

- 5 各課題とも作業開始の指示は競技委員が行ないます。競技者は、挙手または「は

じめます」と申告して、4 (A・B・C・D) コート同時にスタートしてください。

競技が終了したら挙手または「終わりました」と申告してください。

また、最初と最後の入退室は「失礼します」、「失礼しました」と声を出して

挨拶をしてください。尚、作業途中の入退出は、会釈（軽く礼）をしてくだ

さい。競技中は上記以外の声は出さないでください。

※ 声を出ることが困難な場合は、挙手のみで構いません。

6 課題において椅子を机の上にあげる際は、安全に配慮した形で上にあげてくだ
さい。

7 作業終了後、競技時間を発表します。競技時間の発表は、4コートの競技者

が終了した段階で各コート順次発表しますので、先に作業を終了した

競技者は、スタートラインに戻り、他の競技者が終了するまで、そのまま待機
してください。

8 両競技で利用できる資機材は、支給されたもの以外は使用できません。

9 競技で使用する資機材の準備・後片付けは競技委員のサポートにより資機材準備

エリアで行なってください。

10 競技の採点は、作業準備・作業動作（手順）・仕様誤り・作業態度・作業時間

の5面から審査し、加点方式により行います。

11 競技者は、本競技に適した服装をしてください。

12 帽子の着帽は求めません。

13 今回の大会より課題内容が変更となっておりますので、ご注意ください。

禁止事項

1. 競技時間中に他者から指導や助言を受けてはならない。

2. 他の選手やスタッフの妨害をしてはならない。

3. 競技中^{きょうぎちゆう}にスマートフォン、スマートウォッチ、タブレット等^{とう}の通信機器^{つうしん きき}を使用^{しよう}してはならない。

4. 定め^{さだ}られた競技時間^{きょうぎじかん}および競技^{きょうぎ}エリア以外^{いがい}で作業^{さぎよう}を行^{おこな}ってはならない。

＜課題1 カーペット床清掃及び机上清掃＞

- 1 床の材質は、繊維系の床面とします。
- 2 作業は、掃除機によるカーペット床の除塵作業及び机上拭き作業です。
- 3 床のごみは、「シュレッダーで裁断した紙」とし、50ml程度をまいたものとします。
- 4 掃除機、タオルは、作業カートに載せてあります。

＜課題2 弾性床清掃及びごみ処理作業＞

- 1 床の材質は、塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
- 2 作業は、床面の除塵・拭き・及びごみ処理作業です。
- 3 本課題で使用する一部資機材・消耗品は、作業カートに載せてありますので、不足なものがないか点検し、不足がある場合は競技委員に申告してください。
- 4 モップ柄の長さの調節、乾式モップ用のクロス取り付けは作業前に資機材準備エリアにおいて競技者自身で準備してください。
- 5 乾式モップヘッドは作業カート上部、モップの柄は作業カートの所定の位置にそれぞれ競技開始前にセットしてください。
- 6 床のごみは、「おがくず」とし、50ml程度をまいたものとします。

【資機材一覧】

1. 競技会場に準備されているもの

(1) 課題1

品名	寸法又は規格	数量
作業カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
作業表示板	清掃プラパネルⅡ W27.5×D42×H62 (単位=cm)	1個
三段ボックス	アイリスオオヤマ 3段収納分類BOX 54.5*39.1*59.2 (単位=cm) 品番：NSW-543WT ※アイリスオオヤマホームページ参照	1台
真空掃除機	ポット型 リンレイ RD エコ2型	1台
機	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
イス	パイプ式折りたたみ	1脚
タオル	白 (乾き拭き用) 青 (水拭き用) 各1枚	合計2枚

(2) 課題2

品名	寸法又は規格	数量
作業カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
作業表示板	清掃プラパネルⅡ W27.5×D42×H62 (単位=cm)	1個
三段ボックス	アイリスオオヤマ 3段収納分類BOX 54.5*39.1*59.2 (単位=cm) 品番：NSW-543WT ※アイリスオオヤマホームページ参照	1台
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄 L150 cm	1本
ラゲ (モップ房)	260 g 白色	1個

こがた 小型ぼうき	W26×L101 cm 30cm幅用	1 本
かんしき 乾式モップヘッド	だいけい 台形 63cm	1 個
ぶんか 文化ちりとり	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 個
ダスタークロス	69cm幅の不織布	1 枚
ビニール袋	ごみ箱用替袋	1 枚
つくえ 机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台
ごみ箱	かくがた 角型	1 個

2. 選手が持参するもの

ひんめい 品名	すんぼうまた きかく 寸法又は規格	すうりょう 数量
さぎょうぎ 作業着 (上・下)		1 着
さぎょうぐつ 作業靴		1 足

*持参するものは上記のものに限るが、同一品目のものを予備として持参することは差し支えない。

課題1 カーペット床清掃及び机上清掃（作業時間：8分）

作業仕様

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	- 作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている。 - 真空掃除機には、ウォンドと吸込口がセットしてある。	- 必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。 - 資機材が過不足なく準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	競技委員の始めの合図で所定の位置に立ち、「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手を挙げ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	作業カート（以下カート）を保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業表示板を立てる。真空掃除機をカートから作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差し込み、始動点検を行う。	- 作業カートは保管庫から適切に移動する。 - 吸込口に手をあて、風量があるか点検する。	
入室の挨拶	入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	
イスを机上に乗せる	①作業前にイスを机上に乗せる。	- 安全に留意して机上に乗せる。 - イスは机からはみ出さない様に机上に乗せる。	

除塵作業 (真空掃除機)	②真空掃除機を使用し、外から入口を除塵し、入室する。 ③室内での作業手順は、カーペット床作業手順のとおり行う。 ④前進しながら除塵する。 ⑤作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。	・入口のごみを踏まないように広めに足場を確保する。 ・吸込口を床に強く押しつけない。 ・机の下に当たらない様に適切に除塵を行う。 ・掃除機本体は、手で持って移動する。 ・プラグを持って抜く。	ごみは、シュレッダーで裁断したものを50ml程度均等にまいてある。 掃除機のコードを持って抜かない。
イスを元の場所に戻す	安全に音を立てない様に元の場所に戻す。	安全に留意して下ろす。	
机上拭き	①青色のタオルを八折にして持つ。 ②机の上を青色のタオルで水拭きした後、白色のタオルでから拭きを行う。	・タオルが汚れたら、きれいな面を出して拭く。 ・机の縁を含めて、四隅から中央へと拭く。 ・横拭き・縦拭きを行う。	・イスは作業の邪魔にならないところに移動する。
点検	指差し又は目視点検を行う。	資機材の忘れ、ごみの取り残しがないか点検する。	声を出さないこと。
退室の挨拶	出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等と一礼して退室する。	
資機材の片付け	真空掃除機のコードを適切に巻き、作業カートに戻す。作業表示板をカートに収納し、カートを保管場所に帰す。	床にコードが接触しない。	
終了の挨拶	所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	「終わりました」等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。

課題2 弾性床清掃及びごみ処理作業（作業時間：8分）

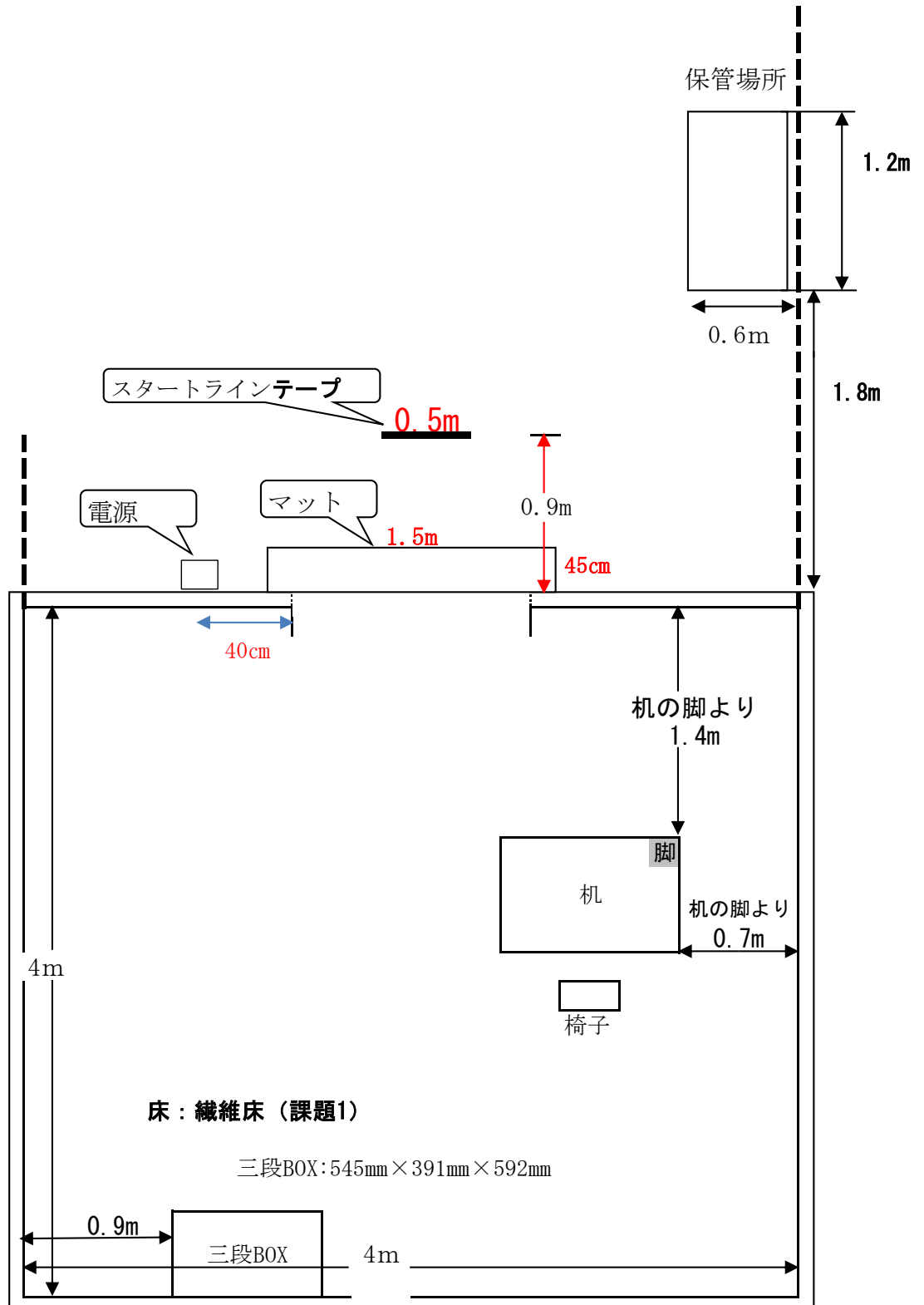
作業仕様

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	・作業に必要な資機材（モップ等）は、すでに作業カート（以下カート）上部に準備されている。 ①ワンタッチモップ柄（以下柄）の長さを調整し、カートの所定の場所にセットする。 ②ダスタークロスを乾式モップヘッド（以下ヘッド）に装着し、カート上部に置く。	・必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。 ・資機材が過不足なく準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、競技委員の始めの合図で「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手を挙げ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	作業カート（以下カート）を保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業表示板を立てる。	・作業カートは保管庫から適切に出す。	
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	
ごみ処理 (1)ごみ回収 (2)ごみ袋のセット	①ごみ箱を作業カート付近に移動する。 ②ごみ箱にセットされているビニール袋を回収する。 ③回収したビニール袋をカートの袋の中に入れる。 ④ビニール袋の替袋を取り出し、ごみ箱にセットする。 ⑤ごみ箱は入口マットの上においておく。	・入退室の邪魔にならない場所に置く。 ・ビニール袋を正しくセットする。 ・ごみ箱は作業の邪魔にならない様に入口マットの上におく	

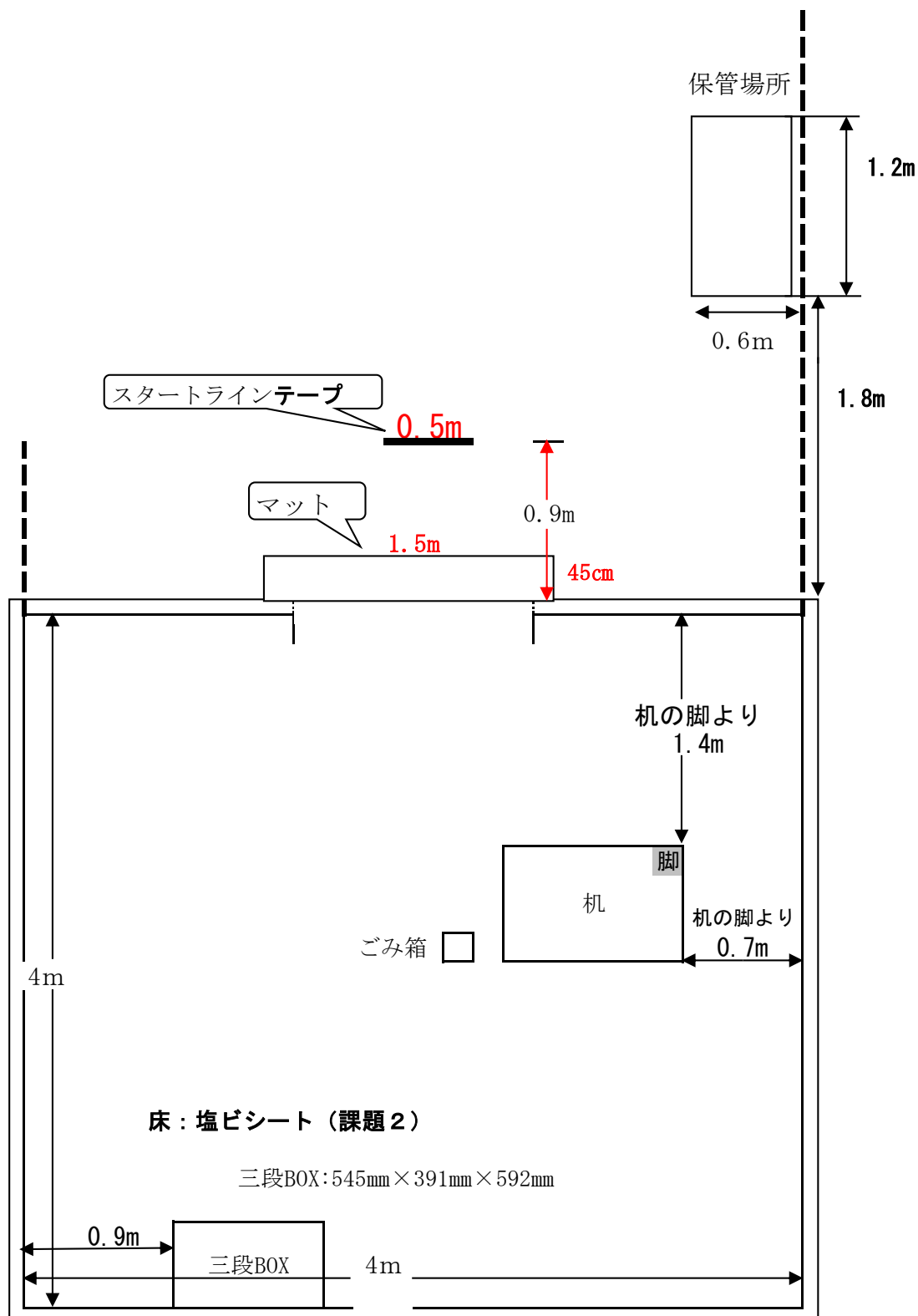
じょじんさぎよう 除塵作業 (乾式モップ)	①ダスタークロス^{そうちやく}を装着^{かんしき}した乾式モップヘッドは入口^{いりぐち}の養生^{ようじょう}マット^{うえ}の上でモップの柄^えに取り付け^とける。 ②乾式モップ^{かんしき}で、外^{そと}から入口^{いりぐち}を除塵^{じょじん}し、入室^{にゅうしつ}する。 ③室内^{しつない}での作業^{さぎ}手順^{しゅん}は、乾式モップ^{かんしき}作業^{さぎ}手順^{しゅん}のとおり行^{おこな}う。 ④ごみは前進^{ぜんしん}しながら出口^{でぐち}に向^むかって1箇所^{かしょ}に集め^{あつ}める。 ⑤ヘッド^{しやうず}を柄^えから外^{はず}す。 ⑥使用済み^{しやうず}のダスタークロス^{はす}をヘッド^{しやうず}から外^{はず}し、カート^{ふくろ}の袋^{なか}の中^{しゅうのう}に収納^{しゅうな}する。 ⑦柄^えとヘッド^{しやうず}をカート^{もど}に戻^{もど}す。 ⑧小型^{こがた}ぼうきと文化^{ぶんか}ちりと^{しやうし}りを使用^{しやうし}し、集め^{あつ}めたごみ^{かいしゅう}を回^{かいしゅう}収^{しゅう}する。 ⑨ごみの取り残^としが^{のこ}ないか点検^{てんけん}する。 ⑩小型^{こがた}ぼうき、文化^{ぶんか}ちりと^{しやうし}りをカート^{もど}に戻^{もど}す。	・柄^えの先端^{せんたん}には親指^{おやゆび}を添^そえる。 ・ヘッド^{へん}の辺^{ひろ}は広い方^{ほう}を先行^{せんこう}させる。 ・入口^{いりぐち}のごみ^ふを踏^ふまないように足場^{あしば}を確保^{かくほ}する。 ・ヘッド^{ゆか}は、床^{ゆか}から離^{はな}さない。 ・使用済み^{しやうず}ダスタークロス^{ふくろ}はカート^{なか}の袋^いの中^いに入れ^いる。 ・ごみ^との取り残^{のこ}しがあ^ある場合^{ばあい}は、小型^{こがた}ぼうきと文化^{ぶんか}ちりと^{しやうし}りを使用^{しやうし}し、回^{かいしゅう}収^{しゅう}する。 ・ヘッド^{じやうぶ}は、カート^{じやうぶ}上部^{じやうぶ}に、スポンジ^{めん}面^{うえ}を上^{うへ}にし^て、邪魔^{じゃま}になら^なないように置^おく。	ごみは、おがくずを 50ml 程度^{ていど}均等^{きんとう}にまいてある。 点検^{てんけん}の際^{さい}に声^{こえ}を出^ださないこと。
みずふきさぎよう 水拭き作業 (モップ)	①コート^{ぜんたいめんせき}全体^ふ面積^{めんせき}を拭^ふく。 ②室内^{しつない}での作業^{さぎ}手順^{しゅん}は、水拭き^{みずふ}モップ^{さぎ}作業^{しゅん}手順^{しゅん}のとおり行^{おこな}う。 ③コーナー^{まわ}周り^{つくえ}と机^{あしもと}の足元^{あしもと}は房系^{ふさぎ}に手^てを添^そえて拭^ふく。 ④モップ^{てきぎうらがえ}は適宜^{てきぎ}裏返^{うらがえ}し、モップ^{ぜんたい}全体^{つか}を使^{つか}って拭^ふく。モップ^{よこふ}は横拭^{よこふ}きを基本^{きほん}とし、後退^{こうたい}しながら拭^ふく。	・拭^ふき残^{のこ}し、拭^ふきむらのないようにする。 ・柄^えの先端^{せんたん}には親指^{おやゆび}を添^そえる。 ・房系^{ふさぎ}が幅木^{はばき}、机^{つくえ}の脚部^{きゃくぶ}に触^ふれないようにする。 ・拭^ふいたところ^{ところ}を踏^ふまないようにする。 ・机下^{きか}は縦拭^{たてふ}きもある。	

ごみ箱 ^{ばこ} を戻す	ごみ箱 ^{ばこ} は、元の机 ^{もと つくえ そば もど} の側に戻す。	.	
点検 ^{てんけん}	指差し ^{ゆびさ} 又は目視点検 ^{また もくしてんけん おこな} を行う。	- 資機材^{しきざい}の忘れ、ごみの取り残^{のこ}しなどの点検^{てんけん}を行う。 - 声^{こえ}を出さない様^だに点検^{てんけん}する。	
退室 ^{たいしつ} の挨拶 ^{あいさつ}	でぐち出口 ^{でぐち} にて、室内 ^{しつない} に向かって退室 ^{たいしつ} の挨拶 ^{あいさつ} を行う。	「失礼 ^{しつれい} しました」と一礼 ^{いちれい} して退室 ^{たいしつ} する。	
資機材 ^{しきざい} の片付け ^{かたづ}	作業表示板 ^{さぎようひょうばん} をカートに収納 ^{しゅうのう} し、カート ^{ほかんばしよ} を保管場所 ^{もど} に戻す。		
終了 ^{しゅうりよう} の挨拶 ^{あいさつ}	所定 ^{しよてい} の位置 ^い に立ち、終了 ^{しゅうりよう} の挨拶 ^{あいさつ} を行う。	「終わ ^お りました」等の意思表示 ^{いしひょうじ} を行う。	作業終了 ^{さぎようしゅうりよう} を申告 ^{しんこく} する。

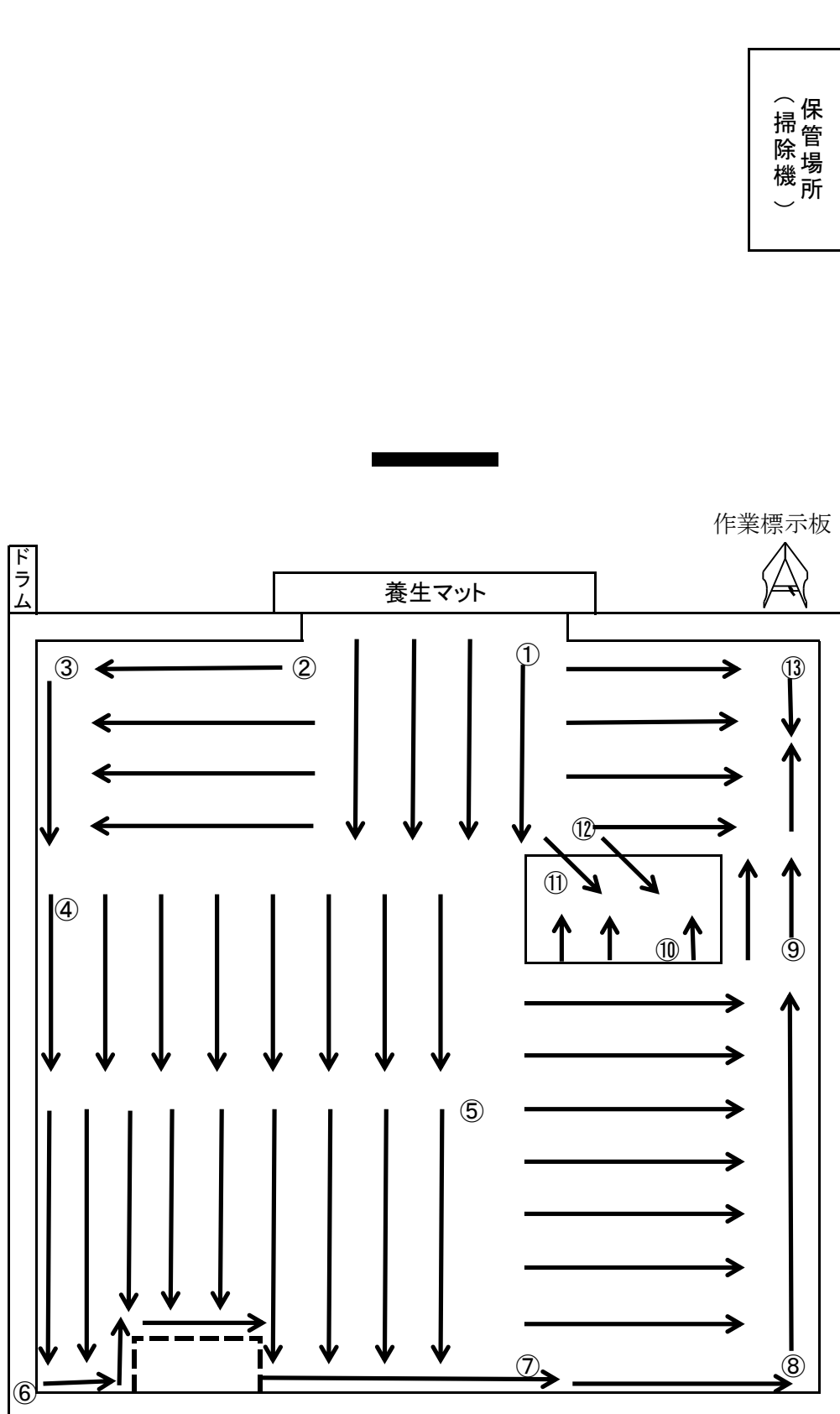
標準配置図(第1課題)



標準配置図(第2課題)

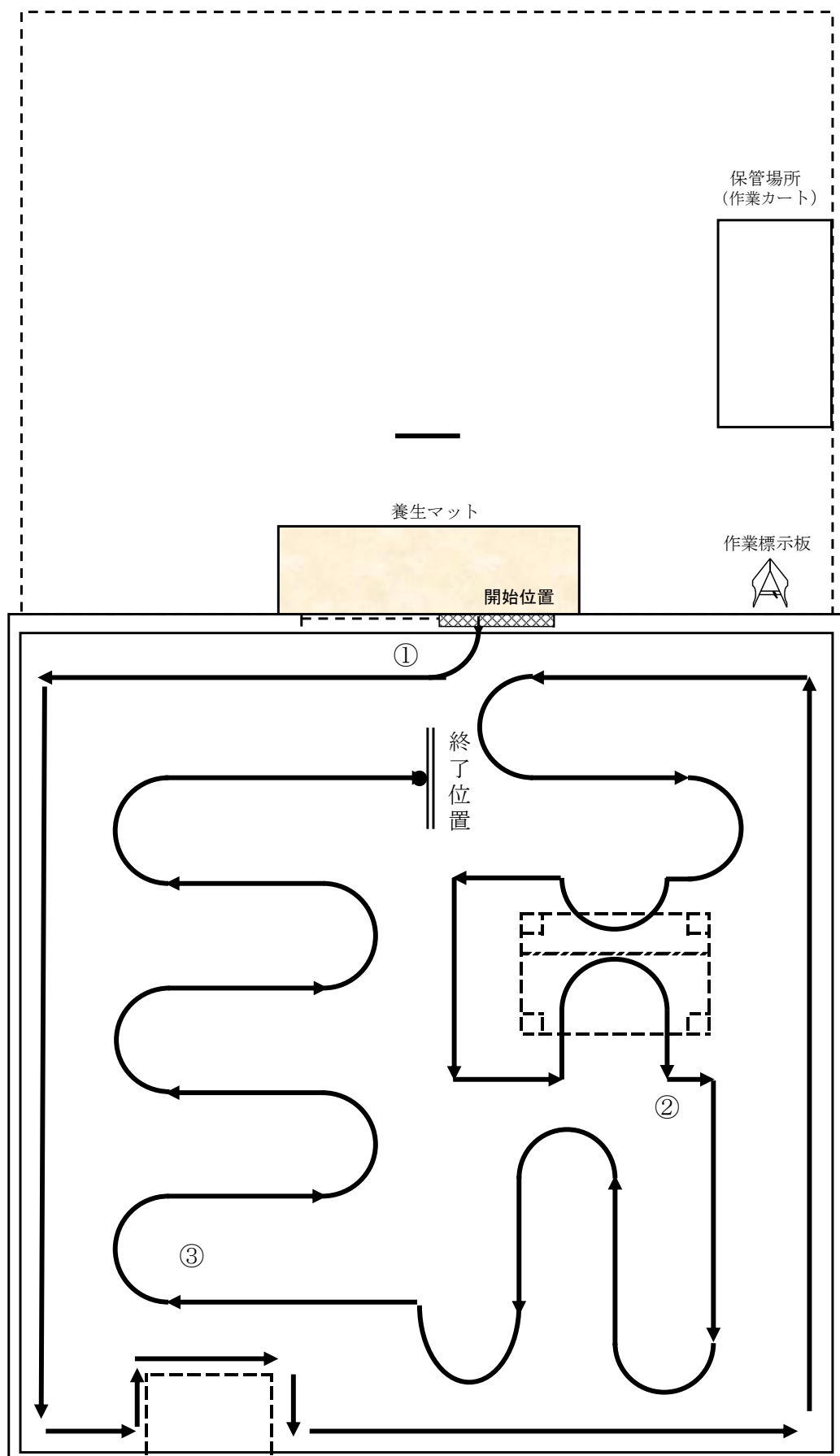


カーペット床作業 基本的な作業手順



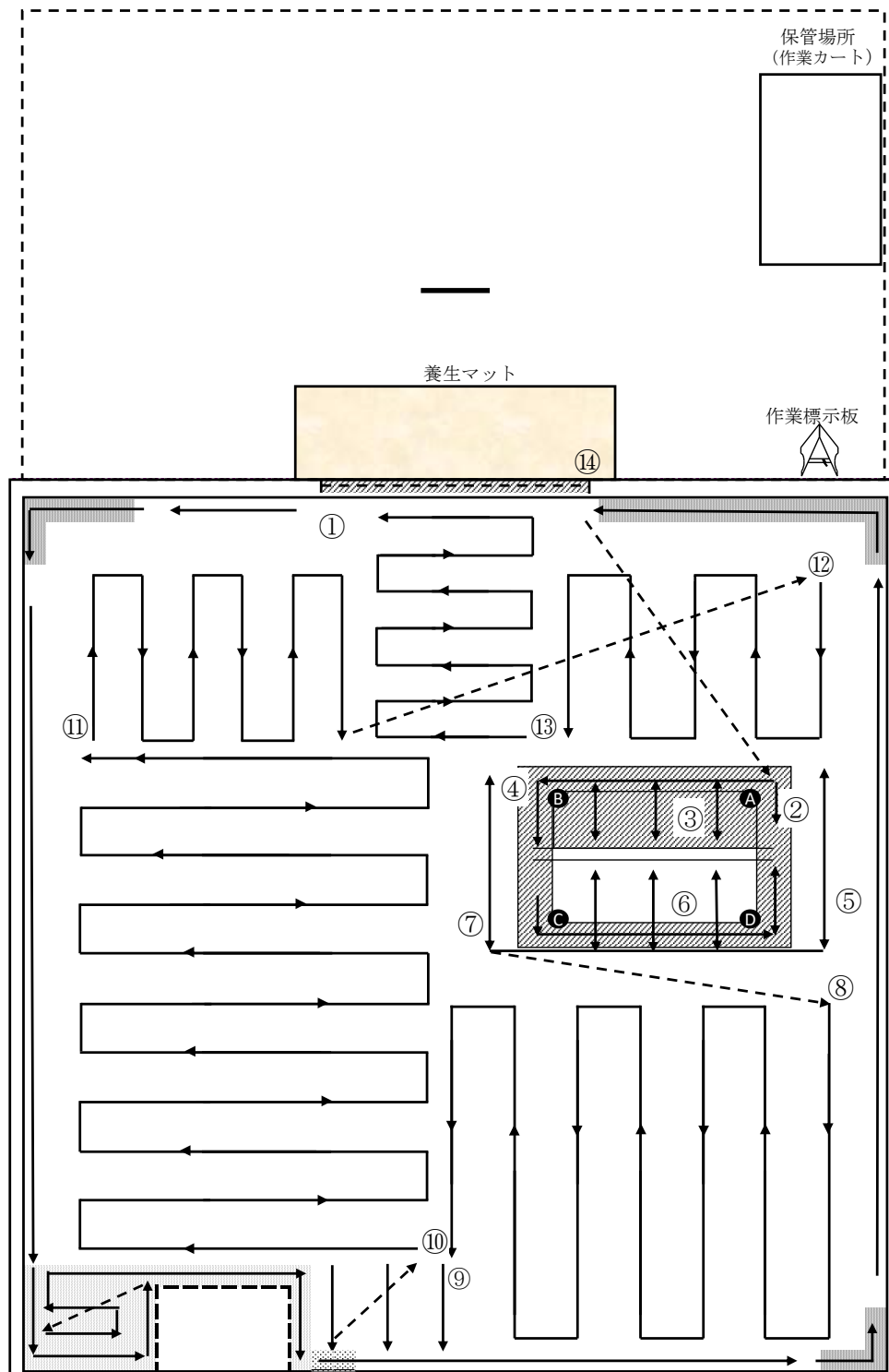
注: 作業の進行は①～⑬、吸引回数を入れたものではありません。

乾式モップ基本的な作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

水拭きモップ作業基本的な手順

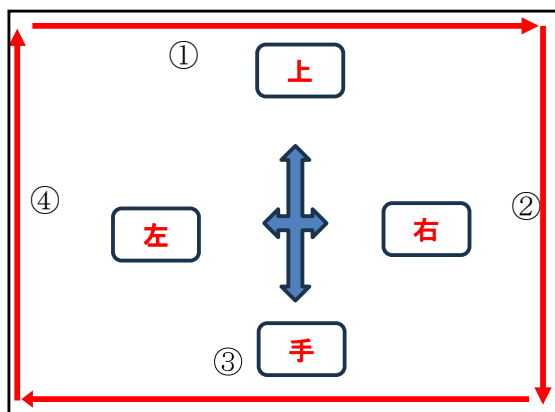


注：印は手を添える箇所を示す。 水拭き回数を入れたものではありません。

- ① 幅木側を1周すること。（コーナーは手を添えます）
- ② Aの脚周りを手を添えて拭く
- ③ 机の下を手を添えて拭く
- ④ B脚、C脚、D脚の順に脚回りを手を添えて拭く
- ⑤ 机の脇（壁側）を拭く
- ⑥ 机の下を手を添えずに拭く
- ⑦ 机の脇（入口側）を拭く
- ⑧～⑬ 拭きムラがないよう適切な間隔で拭く
- ⑭ 入口は手を添えて拭く

基本的な机上拭き

その１．縁(机の4辺)の作業動線



作業者の立位置

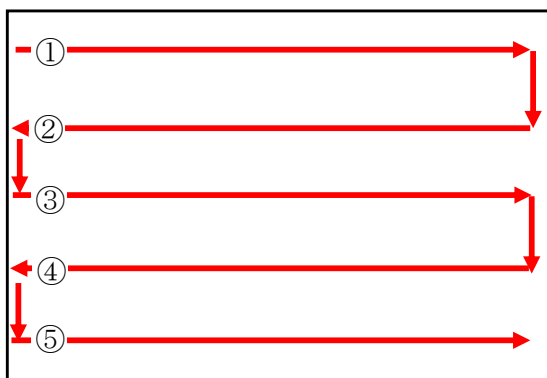
その２．縁(机の4辺)の拭き方

※. 選手は審査員に正対し動線図に示された場所に立つ（縦拭き・横拭きも同様）

A. 机「上端」の縁を左端から②→③→④の順で机の「縁」を拭く。

※. 左手で拭く場合は、机「上端」右側からスタートしても構わない。

その２．机中央の作業動線（横拭き）



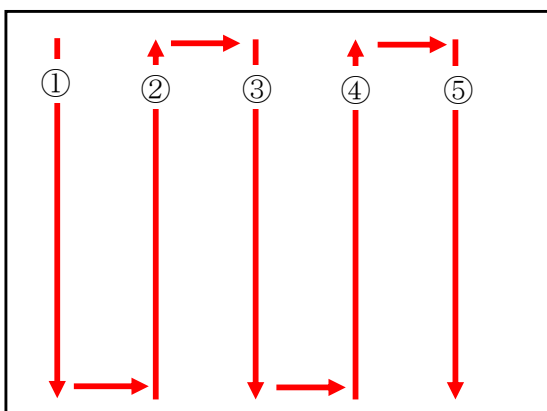
作業者の立位置

①～⑤の様に机「中央」を左側から拭き残しやムラの無いように拭く。（拭く回数は指定しない）

※. 左手で拭く場合は、机右側からスタートしても構わない。

※. 適宜タオルの面を変えながら拭く。

その３．机中央の作業動線（縦拭き）



作業者の立位置



①～⑤の様に机「中央」を上端から手前へ縦拭きによる拭き方で拭き残しやムラの無いように拭く。（拭く回数は指定しない）

※左手でタオルを持って作業する場合の動線は、右手による拭き方の「逆（⑤～①）」になっても問題ない。